

平成29年12月 南魚沼市議会定例会
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	11	清塚武敏	11日 (月)
2	16	中沢一博	
3	2	梅沢道男	
4	13	岡村雅夫	
5	8	永井拓三	
6	4	吉田光利	
7	15	寺口友彦	12日 (火)
8	6	田中せつ子	
9	19	関常幸	
10	9	桑原圭美	
11	21	牧野晶	
12	10	塩川裕紀	13日 (水)
13	3	目黒哲也	
14	1	大平剛	
15	14	佐藤剛	
16	5	中沢道夫	
計		16名	

【質問方式】（いずれも質問制限時間（答弁時間を含まない。）は 30 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。

質問 順位	質問 内 容
1	北里大学保健衛生専門学院と市の関わりについて
議席	
1 1	
清 塚 武 敏 (一問一答方式)	<p>北里大学保健衛生専門学院は、昭和 57 年 4 月の開校以来、30 年以上にわたり魚沼地方で高校新卒者を受け入れる唯一の高等教育機関として、医療従事者を養成し、地域の医療機関に人材を供給してきた。現在は 3 学科 1 専攻科の体制で、教職員、在学生で 900 名を超えており、当市への経済効果は非常に大きいものがある。しかし、「県立十日町病院附属看護専門学校」の開校が平成 32 年 4 月と示されたことにより、志願者数の減少または学科の縮減等が懸念される。今後の南魚沼市の「C C R C 構想」「健康ビジネス構想」「メディカルタウン構想」そして基幹病院を核としたまちづくりには、北里大学保健衛生専門学院の存在無くしては考えられない。市長の考えを伺う。</p> <p>(1) 医療スタッフが不足するなか、地元子どもたちの入学や卒業生の市内医療機関就職に、市としてどのような取組をしてきたのか。</p> <p>(2) 学校法人北里研究所と南魚沼市との連携協力に関する包括協定を締結して来年で 10 年になる。成果と今後の展望は。</p> <p>(3) 県立十日町病院附属看護専門学校の開校を利点にするとともに、北里大学保健衛生専門学院も存続していくために、市として県にどう働きかけをしていくのか。</p>

質問 順位	質問 内 容
3	1 医療再編の完結に向けた取組と市立病院群への対応について
議席	
2	医療再編の完結に向け、市立病院群の役割は一層重要となっているが、市長の現在の認識と今後の病院事業への対応について伺う。
梅 沢 道 男 (一問一答方式)	<p>2 原発政策について</p> <p>(1) 市長は「個人の考えは別としても、市長としては現状での原発の再稼働は認めることはできない」としていたが、就任1年を迎えた現在の考えを伺う。</p> <p>(2) 市長は「市民の生命・財産を守ることは最も重要な務めだ」とし、原発事故は「冬期間は大変なことになる」と話しているが、市の防災計画（原子力災害対策編）で事故対応は可能か。当市でも原発廃止は極めて重要な課題と思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 市長は東京電力について「その体質を疑わざるを得ない」と答弁しているが、原子力規制委員会の審査で事実上「合格」が出された現在の考えを伺う。</p> <p>(4) 「核のゴミ」受入れ県内首長アンケートでは「交付金の魅力」項目に対し、県内で唯一「とても魅力的」と回答しているが、市長の真意を伺う。</p> <p>(5) 市長の原発政策に対する考えを県や国、市民、更には職員に対し明確に示し、強いリーダーシップを持って対策を進めるべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>3 八箇峠道路（八箇 IC～野田 IC 間）開通に伴う交通対策について</p> <p>(1) 八箇峠道路の六日町・余川 IC 開通までの進捗状況と今後の見通しについて伺う。</p> <p>(2) 八箇峠道路の一部開通後、一部交差点で渋滞が発生している。また、野田 IC では逆走しそうになる車が目立つ。これらの解消対策について伺う。</p>

質問 順位	質 問 内 容
4	1 南魚沼版 C C R C について
議 席	(1) 「事業化ステージ基本計画 (その1)」は、株式会社山下 P M コンサルタンツで構想してきた。ここに至っての業務委託内 容・委託費・調査結果を示せ。
1 3	(2) 首都圏移住・定住セミナーの参加人数が報告されているが、 評価を伺う。
岡 村 雅 夫 (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	(3) 「協議パートナーと構想実現に向けた協定締結の条件整理を進 めている」というが、内容を示せ。
	2 G I T P (グローバル I T パーク) 南魚沼について
	(1) 1 年もたたないうちに家賃の減免 (3 年間免除) がされてい る。契約時に諸問題が想定されなかったのか。契約の内容・変 更を明らかにすべきである。
	(2) アダム・イノベーション株式会社の説明を求める。
	(3) 構想の実現性は見込めるか。
(4) 国際大学での「お試しサテライトオフィス事業」の成果の説 明を求める。	
(5) 進出企業の従業者は 3 か月で交代。短期滞在ビザでの入国で 就労。基本的な部分が満たされていない。改善の見込みはある のか。	
(6) G I T P 南魚沼の関連事業費を伺う。	
3 新ごみ処理施設建設について	
(1) 過大な施設建設にならないよう留意すべきと思うが、所見を 伺う。	
(2) 建設地は市主導で選定するとしているが、住民の理解を得る には、公表しての取組が必要になる。スケジュール・手法を示 せるか。	
(3) 最終処分場の検討もこの機会にすべきと思うが、所見を伺う。	

質問 順位	質問 内 容
6	<p>1 三国川ダム観光について</p>
議席	
4	
吉 田 光 利 (複合型一問一答方式)	<p>三国川ダムは南魚沼市にとって①洪水調整②流水の正常な機能③水道用水④発電と、役割・機能・貢献は絶大なものがある。さらに、大きな観光資源でもある。しかしながら、平成23年豪雨災害、平成29年落石危険に伴い、ダム周辺道路通行止めは観光不振の致命傷となっている。利用者ピークは17万8千人から、おそらく今年は5万人を大きく割ると予測される。ビッグイベントのロードレース中止は、直接的間接的に経済効果・地域活性化に大きいダメージとなった現実がある。三国川ダム観光振興の観点から、以下について林市政の考えを伺う。</p> <p>(1) 三国川ダム観光について、目標と方向付けをどう考えるのか。</p> <p>(2) 現在、通行止めとなっている周辺道路復旧にどのように取り組むのか。</p> <p>(3) ロードレースと三国川ダム観光の協調を推進すべきと思うが、どうか。</p>
	<p>2 子ども・子育て支援事業について</p> <p>子どもは国の宝である。「子ども・子育て支援事業」での子育て世代の保護者への就労支援サービスは、南魚沼市の生産性・雇用創出安定・活性化面で重要サービスと考える。そこで、以下について伺う。</p> <p>(1) 病児保育室増設が必要と考えるが、計画はあるのか。</p> <p>(2) 病後児保育の利用状況と今後の方向付けをどう考えるのか。</p> <p>(3) 学童保育待機児童対策について、どのように取り組むのか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
7	<p>1 産業振興について</p> <p>海外旅行者を呼びこむため、浦佐駅舎に海外民間旅行代理店の誘致とほくほく線を活用したツアールート作成に、来年度予算で取り組むのかがう。</p> <p>2 環境共生について</p> <p>一般廃棄物処理計画の二市一町でのすり合わせを速やかに行い、その後、施設整備を検討するという段取りをなぜ行わないのかをうかがう。</p> <p>3 保健・医療・福祉について</p> <p>地域包括ケアシステムの在宅医療事業について、来年度予算はだれが責任をもって取り組むのかがう。</p> <p>4 教育・文化について</p> <p>来年度から始まる道徳教育で子どもの自殺を未然に防ぐ方策をどう教え、一体となった防止策をどう構築していくつもりなのかをうかがう。</p>
議席	
15	
寺 口 友 彦 (一問一答方式)	

質問 順位	質問 内 容
8	1 学童保育待機解消について
議席	
6	
田 中 せ つ 子	<p>少子高齢化が進む当市にとって、子育て中でも安心して働き続ける為の子育て支援充実は、最重要課題と考える。子どもの人数は減少しているが、学童保育については毎年申込人数が増え、共働き核家族が増加している中で、今後もその傾向が続くと考えられる。申込みの割合は全児童数の3割で、本年6月の時点では7校で通年と長期休暇の合計100人近い待機となり、早期対応を望む声が多い。</p> <p>(1) 今後の場所確保はどう進めるのか。</p> <p>(2) 放課後児童支援員を確保する為の処遇改善が重要だが、どう取り組むのか。</p> <p>(3) 保護者や委託先との情報交換と現場確認は充分か。</p>
(一 問 一 答 方 式)	<p>2 職員の意識改革と行政姿勢の変革について</p> <p>市長は1年前の12月議会の所信表明で「職員の意識改革や行政姿勢の変革を進めることで、市民と行政の一体感や市行政に対する信頼感が飛躍的に高まると確信しています」と発言した。この1年間の成果について伺う。</p> <p>(1) 具体的な取組と成果事例、特に変革が必要と考えている点はあるのか。</p> <p>(2) 市民と行政の一体感や信頼感を高めるには、市民の声に真摯に耳を傾ける事が重要であり、市民が変革を実感する事が必要と考えるが、市政ポストはどう活用しているのか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
1 1	<p>1 横乗り系スポーツの聖地化を目指せ</p>
議席	
2 1	<p>市長は、冬期間、強化選手が練習する為に市内学校に入校しモニターパイプなどの施設を利用し練習してゆくという方針を挨拶等で語ったりするが、将来的にどのような位置づけをもっておこなうのか確認する。</p>
<p>牧 野 晶</p> <p>(一問一答方式)</p>	<p>2 市民に優しい南魚沼を目指せ</p> <p>学童保育で自宅か学校の 500 メートル以内に祖父母等が居住している場合は学童に入所できないともとれる文章が配布された。子育てを大切にしてくという市の姿勢、市長の公約に反していると思うがどうか。</p>

質問 順位	質問 内 容
14	<p>1 市の子ども育成支援について</p> <p>現在、南魚沼市では子どもの不登校、問題行動の未然防止、早期解決の為「心の教室相談」を市内6中学校で行っているが、さらに早い段階の小学校から行えないか。</p> <p>2 看護職、介護職及び教職員の勤続表彰制度の導入について</p> <p>看護職、介護職及び教職員の勤務継続年数やモチベーションのアップの為に、勤続表彰制度を導入することは意義があると思うがいかがか。</p>
議席	
1	
大 平 剛	
（一問一答方式）	

質問 順位	質問 内 容
15	1 林市政の財政運営と行政課題
議席	(1) 財政の現状と今後の考え方
14	
佐 藤 剛 (複合型一問一答方式)	<p>① 地方交付税と税収の今後をどう見通すか。 ② 実質公債費比率、将来負担比率の積極的な改善に向けた財政運営は必要でないか。 ③ 臨時財政対策債の活用をどう考えているのか。</p> <p>(2) 行政課題と財政運営</p> <p>① 折り返しの「総合戦略」の進捗と併せ、今後どう進めるかを問う。 ② 今後投資的経費を抑えるにしても、財政的に負担の大きい事業もまだまだ多い。それらの財政負担にどう対応するか。 ③ 「健全財政維持5ヶ年計画」(仮称)を策定しながら、市政運営を進める必要はないか。</p> <p>2 高齢者運転免許証返納に伴い高齢者の移動手段の確保をどう進めるか</p> <p>(1) 市民バスの高齢者割引制度を。 (2) タクシー会社と連携したタクシー料金の割引を。 (3) 市民バスとデマンド型交通、市町村運営有償運送等の併用による公共交通の充実で、高齢者の移動手段の選択肢の拡大はできないか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
16	1 水道料金のさらなる引き下げを求める
議席	(1) 基本料金を県内平均の1,500円程度まで引き下げる考えはないか伺う。
5	(2) 基本料金を口径別の料金体系に変え、10立方メートル以下の使用者の軽減を図る考えはないか伺う。
中 沢 道 夫 (複合型一問一答方式)	2 地下水採取条例への対応について
	(1) 市民や井戸業者からの問い合わせ等に柔軟に対応しているところがあるが、具体的にはどのような対応をしているのか伺う。
	(2) 今後、条例の見直し等は考えていないか伺う。
	3 国民健康保険の広域化への対応について
	(1) 県の仮算定の結果をどう受け止めているか伺う。
(2) 今後も今の保険料水準を維持していく考えはあるか伺う。	